■原敬 外務官僚，政党政治家。退官後，新聞人の手腕を發揮して政界入り，初の“平民宰相”になるも，暗殺された。

はらたかし

松下村塾・1856＝ 陸中岩手郡本宮村で盛岡藩重臣の次男に生まれた。

桜田門外変・1860＝ 4歳：

8月18日政変 1863＝ 7歳：この頃から寺子屋に通って素読を習う。

禁門の変・1864＝ 8歳：父が死去。

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

気丈で賢明な母に育てられて端然な人格を形成，

明治維新・1868＝12歳：家禄も失う。

戊辰戦争終・1869＝13歳：修文所に通う。

廃藩置県・1871＝15歳：従兄弟の支援を受けて上京，英学校{共観義塾}に入学，

学問のすすめ1872＝16歳：実家が盗賊に襲われて金品を奪われるという災難にも遭って，カトリック神父の学僕となって苦学，

明治6年政変 1873＝17歳：

佐賀の乱・1874＝18歳：

三つの反乱・1876＝20歳：_設立直後の司法省法学校に2番で入学。

琉球処分・1879＝23歳：_“賄征伐”で退校，改進黨系の{郵便報知新聞}記者となる。

売文生活で凌ぐうち，

明治14年政変1881＝25歳：野に下った大隈派の人物が社長となって，社内に居辛くなったため，

新体詩抄・1882＝26歳：_大阪の官僚派の{大東日報}主筆に転進したが，御用新聞のため巧く行かずに帰京。井上毅，井上馨に認められ外務省に入るとともに，中井弘に可愛がられて，その娘と結婚。

岩倉具視没・1883＝27歳：_天津領事として赴任。直ぐに才腕を示し，

内閣発足・1885＝29歳：_パリ公使館書記官に栄転。

帝国憲法発布1889＝33歳：_外相大隈重信をきらって農商務相井上馨の秘書官となり，陸奥宗光の知遇を得，

大本教・1892＝36歳：_陸奥が外相になったのに従い，外務省に戻って通商局長に就任。外交官採用制度を確立，

日清戦争始・1894＝38歳：_日清戦争開始時の陸奥外交を補佐し，

日清戦争終・1895＝39歳：_外務次官に進む。

白馬会・1896＝40歳：_公使として朝鮮に赴き，閔妃殺害事件のあとの日本勢力回復に努め，

八幡製鉄始・1897＝41歳：_大隈がまた外相となり，陸奥が病没したので退官，大阪財界に迎えられて{大阪毎日新聞}社長に就任。

子規句歌革新1898＝42歳：_東京大阪間の電話が開通すると，早速電信から電話に転換して速報性を高めるなどして，

_読者を3倍に増やす経営手腕を發揮した。

ビア/国産化・1900＝44歳：_*伊藤博文に呼ばれて立憲政友会結成に参画，幹事長を経て第4次伊藤博文内閣の逓信大臣に就任。

田中正造直訴1901＝45歳：_北浜銀行頭取，

教科書疑獄・1902＝46歳：_{大阪新報}の社長も務める。*盛岡市より代議士に選出，以来その死まで連続当選する。

日露戦争終・1905＝49歳：_陸奥の親戚で井上馨が監督する古河鉱業の副社長になる。桂太郎首相と政権授受につき交渉を進め，

満鉄発足・1906＝50歳：_西園寺公望内閣を実現させ，内務大臣に就任。

韓国併合・1910＝54歳：

大逆事件判決1911＝55歳：_第2次西園寺内閣でも内相として入閣。

明治天皇没・1912＝56歳：_二個師団増設問題により内閣が倒れるまで，いわゆる桂園内閣時代において，松田正久とならぶ政友会の二大支柱の一人として活躍。第1次護憲運動で桂内閣を倒したあと，山本権兵衛内閣でも内相となるが，<シーメンス事件>で総辞職となる。

第一次大戦始1914＝58歳：_西園寺引退のあとを受けて，政友会総裁に就任。

21ヶ条要求・1915＝59歳：_第12回総選挙では第2次大隈内閣の野党として大敗を喫し第二党に転落したが，党内とりまとめにも手腕を發揮し，次の寺内正毅内閣では是々非々主義の立場を示しながらも準与党の地位につき，

ロシア革命・1917＝61歳：_第13回総選挙で第一党に返り咲いた。

本格政党内閣1918＝62歳：_*米騒動では事態を静観し，寺内辞任のあとを受けて，政党政治家として最初の首相に指名され，陸・海・外3相を除く閣僚に政友会員をあてる最初の政党内閣を組織した。世論は爵位をもたず衆議院に議席をもつ首相の初めての出現を“平民宰相”と呼んで歓呼して迎えた。

ベル仁条約・1919＝63歳：

_しかし，力の政治にひそむ腐敗による疑獄事件や<尼港事件>で破綻をきたし，

原敬首相暗殺1921＝65歳：_*ワシントン会議と戦後不況に直面して政策転換を模索中，政友会京都支部大会出席のため東京駅改札口(南口)にさしかかったとき，大塚駅員中岡良一の短刀に刺されて没した。